

(様式1)

## 自己評価票

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自治会主催の「ふれあい喫茶」への参加や散歩、商店街での買い物等、積極的に行っています。	○	一対一の話し合いの機会を多く持ち、個々の希望に添って外出の頻度を増やして行きたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的なフロア会議や各委員会等で確認、理念の共有、実践に向けて取り組んでいます。	○	職員一人一人が意識しながら入居者様に関わりが持てる様、話し合いの機会を増やす必要がある。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月ご家族様に配布しております『ゆうとび庵通信』や運営推進会議等で理解、浸透に取り組んでいる。	○	施設行事やレクリエーション等への掲示を行い、家族様や地域の皆様が立ち寄り易い様工夫をする。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設周りの掃除や公園を散歩したり、外食、理髪店、商店街等に出掛ける等積極的に行っている。	○	地元の活動への参加や地域の皆様との交流が持てる様取り組んで行きたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の「ふれあい喫茶」等に参加している。	○	その他の地域活動の参加を試みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	A E Dをいつでも利用して頂ける様1階に設置し、玄関入り口にも案内掲示をしている。	○	当庵で役立てる事を更に追求していきたい。
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果の報告及び改善すべき点については、マネージャー会議 各フロア会議にて取り組んでいる。	○	評価を無駄にしない様、サービスの質の確保に活かしていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回は地域運営推進会議を行なっています。	○	議場での内容をサービスの質の向上に結び付けて行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上で困った事等があれば、担当部署に問合せしたり相談させて頂いております。また各報告内容につきましても迅速に対応させて頂いております。		更に機会作りに取り組んで行きたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	各職員に資料を回覧、配布し、活用出来る様にしている。	○	外部で開催される講習会等への参加を行なって行きたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修への参加や虐待マニュアルを作成配布している。	○	委員会等での話し合いや講習会への積極的な参加を行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12 契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度時間を掛け、誤解の無い様に対応しております。		今後ご家族様にとって分かり難い箇所等は無いが、自己点検を行っていききたい。
13 運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に入居者様へは話し易い雰囲気を作り会話を通じてお聞きしております。食事レクリエーション等も入居者様の意見を多く取り入れて対応しております。	○	まだまだ不十分な所もある為、スタッフ側から聞き出す取り組みを行っていききたい。
14 家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月『近況報告』をご家族様宛てに入居者様の様子を報告している。救急搬送など急変時については速やかに連絡、報告をしている。	○	『ゆうとび庵通信』にはスタッフ紹介欄を設けて案内を行っている。今後もきめ細かな連絡・報告を行っていききたい。
15 運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し幅広くご意見を頂戴したり、日頃からご家族様が話しをし易い雰囲気を作っております。	○	職員一人一人がこの様な意識を常に持つ様に話し合いを行っていききたい。
16 運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロア会議やマネージャー会議の場に於いて意見・提案を聞く場を設け、常に改善に向けて取組んでいる。		個々の職員との意見・提案を聞く時間を更に増やす必要がある。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各フロア会議やマネージャー会議の場に於いて話し合いや調整を行っている。		常に職員同士の連絡網を把握し緊急時の職員確保に努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の能力・経験に応じて職場の配置に配慮しています。		更にスキルアップを目指した勉強会などの実施を行ないたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会への参加を段階的にしています。また、資格取得のための補助もしております。		常勤者だけではなく非常勤職員へも研修会への参加がし易い様にと取組んでいきたい。
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今後の課題としており、未だ実施出来ておりません。		懇親会等での意見交換やレベルアップについての交流を図りたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	過酷な勤務状況にならない為の休日の確保に十分留意している。		特に新しい社員等には悩み事や相談を積極的に聞く様にしたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経験・能力・資格に応じて責任職へ配置している。		実力に応じて各研修の受講やフロア長、計画作成担当者等の責任ある役職を目指してが頑張れる体制を維持する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご本人様及びご家族様との面談を通じ多くの情報を収集する事により、ご本人様を受容する努力を行っている。</p>	<p>状況により面談回数を増加する事により入居までの変化の状態を把握する必要がある。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>上記同様に対応しております。</p>	<p>上記同様に回数を増加したり、相談し易い雰囲気を作り出す努力が必要である。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な（医療を含めた）専門機関との連携を図る事により対応出来る様にしている。</p>	<p>相談できる専門機関の件数を増やして行きながら家族様との関係も構築していく。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者様が愛用していた物があれば持ち込んで頂き、自宅と変わらない生活環境を作る工夫をしている。</p>	<p>初期の段階では自宅と施設を行き来しながら当庵の環境・雰囲気に馴染んでもらう事で安心して頂ける様な支援を取り組みたい。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様の思いに近づき共感し合える関係作りに取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>現状に満足する事なく貪欲に入居者様の気持ちを理解する努力が必要である。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族様の来庵時には必ず職員が声掛けを行い、利用者様の状況を伝えている。	○	当庵へ足を運んで頂ける様に今後も当庵より様々な情報発信を行う。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族様の都合を聞いて外泊や外出等の機会を増やし、つながりを持って頂く様支援している。	○	家族様に現状を受容して頂く様に働き掛ける。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の趣味、趣向等をレクリエーションに取り入れている。また無理強いする事なく本人の好みを大切にしている。	○	馴染みの場所へ出掛けたり家族様にも働きかけていきたい。
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが関わることでその人らしく生活して頂ける様、努めている。	○	外出やレクリエーションの参加により、入居者様同士の交流が持てる様支援する。
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院による退居をされた後でも入院先病院と連絡を取る等して家族様の意向に添う努力を行っている。	○	状況により手紙や施設行事等にお誘いをする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>時間を設け、個々に利用者と話し合いを持っている。困難な方については家族から話しを聞いたり、フロア会議などで検討している。</p>	<p>○</p> <p>今後も職員が意見を持ち合い、把握していけるようにする。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族様からの情報や介護サマリー、前担当ケアマネージャー等より話を聞く等して情報収集をしている。</p>	<p>○</p> <p>フロア会議等により職員の把握を徹底する。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護記録・体調変化表・食事報告書・ドクター往診表等を用いて把握している。</p>	<p>○</p> <p>申し送りノート等情報の共有をしています。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議でモニタリング評価を行い、作成している。</p>	<p>○</p> <p>今後は医療従事者の意見も反映出来る様に努めたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>都度、変更作成し対応している。</p>	<p>○</p> <p>柔軟に対応出来るよう取組んでいきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・体調変化表・食事報告書等に記録、状況を把握している。	○	申し送りノートで職員の情報共有に努めている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他医療機関への通院や介護用品等の一時使用等。	○	状況に応じ、馴染みの職員が対応出来る様、申し送り、フロア会議等で確認、共有する。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	大阪市消防署による非難訓練を定期的に利用者様と共に行っています。また近隣にある図書館を利用したりしております。	○	ボランティアの参加も積極的に行っていきたい。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実績がない為支援出来ておりません。		必要時には取組んで行きたいと思います。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への参加にてご意見や要望は頂いており、また「財産管理センター」の利用にて連絡は取り合っております。		今後は更に関係を深めて行きたいと思います。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族様の意向を確認して適切な医療を提供しております。	○	元々の掛かりつけ医が遠方にある場合は家族様との相談により、対応する必要があります。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医の往診により適切にサポートして頂いております。	○	更に支援を強化したいと思います。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護にて支援を行っております。	○	内容については更に良くしたく思っています。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	提携医療機関ととの連携により実施しております。	○	利用者が入院した場合は馴染みの職員がお見舞いに行く事で本人の不安を軽減する。また現況を把握し早期退院に向け、病院関係者と話し合いをしている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に当庵の指針を説明し理解を頂いております。	○	実際に重度化された場合は、早期に話し合いを行ない、家族の意向を確認しながら対応して行く必要があります。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	指針を元に提携医療機関とも日常から検討を行っています。	○	様々なケースがある為、更なる検討の必要性を感じております。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	本人の状態を第一優先に考え、事前準備及び入居 後のサポートを慎重に実施しています。	○	本人に混乱等が起こっても、提携医療機関等との 連携を密にして対応する事が必要であります。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	声掛けや対応には十分注意を払っております。	○	プライバシー確保について今後もフロア会議で確 認をする。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	本人の希望や好みを表現できるように支援してい る。	○	決める力を意図的に引き出せるよう取組んでい きたい。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	その人らしい生活が出来る様、出来るだけ自分の ペースで過ごして頂いています。	○	日々の暮らしがその人らしいものになる様支援し たい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	入居者様が好まれている理髪店に行ってもらいた り、女性で化粧をされる方には個別に支援してお ります。	○	本人の希望があれば髪染めをしたり、定期的に美 容師の方に来て頂けるよう支援している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事一連の作業を職員と一緒にいき、楽しいものになるよう支援している。</p>	○	<p>定期的にフロア毎で食事レクリエーションを実施しています。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>買い物等に出掛け、入居者様と職員で料理を作り、楽しんで頂けるよう支援している。</p>	○	<p>外食に出掛けたり、食事レクリエーションでは普段とは違うものを食べて頂ける様取り組んでいる。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>定期的なトイレ誘導を行い、出来るだけPトイレで排泄出来るよう支援している。</p>	○	<p>個々の排泄パターンや習慣を把握して出来るだけトイレで排泄でき、清潔が保てる様支援する。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ひとり一人の希望に応じ入浴して頂いています。</p>	○	<p>入浴拒否の方についてはゆっくりと時間をかけ、出来るだけ納得して頂けるよう工夫をしている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>日常生活の中で楽しみ事や役割が持てる様支援している。</p>	○	<p>個々の生活パターンを把握し不安等が生じないように取り組んでおります</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の配膳や食器洗い、居室や廊下の掃除等出来る方には役割を持って頂いています。</p>	○	<p>図書館よ喫茶店に行ったり、買い物にでかけたり個々に合わせた対応を行っている。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	いつでも使用出来る様に支援している。	○	金額は少ないがそのまま続行するかを本人や家族の方と相談をする。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者様の希望に添えるよう、支援している。	○	まだまだ十分とは言えない為、玄関先の庭で日光浴する等出来る事の中から支援に取り組んでいきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員側より希望を尋ね、家族様と相談して実施しております。	○	家族様の協力や理解が大きく必要である為、発生都度取り組んでいきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の方からの電話を取り次いだり、入居者様及び家族様から相談があれば支援している。	○	自ら訴えられない方にも支援して行く必要があると思います。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来庵して頂ける様に庵内の行事等を連絡する通信を発行したり、家族様持込の上履きも設置しております。	○	来庵時にはゆっくりと居室で過ごして頂ける様、セッティングをしている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	庵内の各会議等で話し合ったり講習会等への参加をおこなっている。	○	今後も研修や講習会等への参加を積極的におこなう。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は状況によりますが、極力鍵をかけない様努めております。</p>	<p>夜間等は防犯等から施錠を行っております。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>昼夜問わず入居者様の状況把握には注力しています。夜勤帯は手薄になる為、巡視時以外でも様子確認をおこなっている。</p>	<p>○</p> <p>夜間帯等は緊急対応マニュアルを遵守するよう徹底しております。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意を要する物品については見守りを必ず行い、始めから何でもこちら側で預かる様な事はしない様にしております。</p>	<p>どこにどのような危険があるか把握する事を重点を置く必要があります。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>ヒヤリハットの提出及び集計により、情報の共有化とリスク回避に役立てております。</p>	<p>○</p> <p>今後もひとりひとりのリスクや危険を把握して事故が起こらないよう、危機管理委員会やフロア会議で具体的に検討、確認に取り組んでいく。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成している。救急救命講習会を行っている。</p>	<p>○</p> <p>危機管理委員会はもちろん、勉強会を定期的に行い、緊急時に活かせる技術を身につけていけるよう取り組みたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>法令順守より避難訓練を半年に1回は必ず実施し、非常時に備え対応マニュアルを作成しています。</p>	<p>○</p> <p>運営推進会議等で地域の方の協力が得られるよう話し合いを行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時及び定期的なケアプラン説明時等に、何度も家族の方と話し合い、理解して頂いている。	○	今後も状況変化に応じて対応を行う。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に観察を行い、日常の申し送り、連絡ノート等を活用する事により情報を共有している。	○	毎朝バイタル測定を行い、確認する。異常がある時は速やかに管理者に報告している。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬を起こさないよう、服薬チェック表を作成している。症状の変化についてはしっかりと観察を行い、医師に報告している。	○	薬の変更や中止などは必ず連絡ノートやドクター往診ノートに記入報告している。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ひとり一人の水分摂取量を把握して、乳酸飲料や繊維の多い食品を摂取して頂き自己排便を促しております。	○	廊下を歩いたり、軽い運動をして頂く様、声掛けをする。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがい、歯磨きを行っている。	○	定期的な歯科医の往診にてデンタルケアにも注意しております。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼、嚥下状態が困難な方には調理方法を変えている。食事摂取量や水分摂取量の記入を管理を行っている。	○	食事摂取量や水分摂取量の記入、確認をしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	危機管理委員会やフロア会議で、感染症について勉強会を行っている。	○	感染症予防に関する講習会への参加を行っている。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前には必ず手洗いを行い、毎日調理用具を漂白、除菌している。食品、調味料等の賞味期限を確認する。	○	食材が残った時は必ず日付けを記入している。冷蔵庫内の整理、清浄を一週間に一度行っている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は玄関の扉を開け、玄関周りには花や植木があり、入り口にはソファ等用意している。	○	来庵者や本人、家族様等からの感想や意見を取り入れる。
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	談話室や玄関には季節感を取り入れ飾りつけをしている。	○	居室やトイレ等の汚染が見られる為、掃除をこまめにする。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士、居室で過ごされたり、テラスを利用してお茶会や歌を歌ったり会話を楽しまれる。	○	本人のペースで過ごして頂ける様、職員が気付き、配慮する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や絵、置物等を出来るだけ持ち込んで頂ける様、家族と相談している。</p>	○	<p>入居者様全員ではない為、家族の方に相談する。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>すぐに対処している。居室でのおむつ交換等、においが残らないよう、石鹸や芳香剤等を使用している。</p>	○	<p>ガスでの調理の為、常に換気を行っている。温度調節については各部屋によって温度をかえ調節している。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理委員会等を設け、危険防止について話し合い、確認している。</p>	○	<p>転倒リスクの高い方への見守り強化等。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレの表示や居室入り口ドアにわかりやすい表札を作っている。</p>	○	<p>物品などについては出来るだけ名前を記入している。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関先やベランダに季節の花を植えたり、水やりをしたり、テーブルを囲んでのお茶会等も行っている。</p>	○	<p>駐車場や建物周りの掃除をしている。出来れば花を増やしたり、野菜菜園なども行いたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年5月で開設後が経ちます。当初はあまり無かった地域交流も自治会入会を始め、定期的で開催している運営推進会議、月に1度の「ふれあい喫茶」への参加等と良い関係は築けつつあります。また今年1月末にはAEDの設置を行い、当庵入居者の方を始め近隣の皆様にも必要時には使用して頂ければと、大阪府が推進する「AEDマップ」にも協力施設として登録致しました。